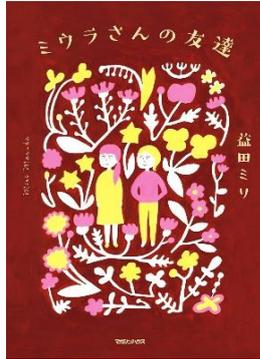


PICK UP!!

# お 職員の推し本



## ミウラさんの友達

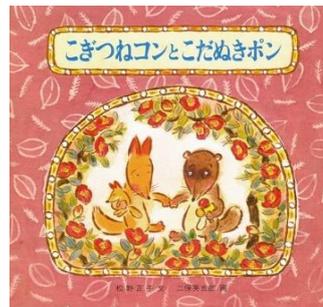
益田 ミリ / マガジンハウス

親友と疎遠になり、ルームメイトとしてロボットの「トモダチ」を買ったミウラさん。大切な関係、例えば家族や友達でも、人との距離感って難しいです。色々と考えたり悩んでしまうこともありますが、ロボットである「トモダチ」をきっかけに、少しずつ前に進んでいくミウラさんに勇気づけられました。益田ミリさんの作品は、シンプルなイラストと何気ない会話や空気感が絶妙で、気軽に読めるのに胸にじんとくるものばかり。『サトウさんの友達』や『僕の姉ちゃん』など、他の作品も合わせて、ぜひ読んでみてくださいね♪

## こぎつねコンとこだぬきポン

松野 正子 文・二俣 英五郎 画 / 童心社

友だちのいないこぎつねのコンとこだぬきのポンは、ある日崖越しに互いを見つけます。でもコンの家族もポンの家族も、たぬきは、きつねは悪い奴だからと話すのも許してくれません。大嵐の翌朝、崖の上に倒れた大木を渡って、2人は初めて出会いますが…周りに交際を反対されるなんて、まるでロミオとジュリエット!? 2人は友だちになれるのか、ハラハラドキドキ…。でも大丈夫、2人は互いの友情と頑張りで、難関を乗り越えます。絵本にしては文字が多いですが、やさしい味わいの絵柄と語り口調に、一気に読めて、最後の余韻までじんわり楽しめる1冊です!



## 藍を継ぐ海

伊予原 新 / 新潮社

今年の上半期直木賞が27年ぶりに「該当なし」となりました。驚きと残念な気持ちが入り混じる中、昨年の下半期直木賞のこの作品を読みました。壮大な地球や悠久な歴史を科学の視点から眺め、北海道から九州まで日本各地5つの場所を舞台にした短編小説。いい意味で自分のちっぽけさを思い知り、奇跡の連続で地球のあらゆる生き物が生きていることが感じられました。登場人物の方言で話す言葉があたたかく、自然と涙が出るページもありましたが、読後の爽快感がなんともいえません! 「まだ読んでいない」という方は、ぜひ手に取ってこの気持ちを味わってもらいたいです♪

